

学生インターン生募集!!

稲垣昭義事務所では学生インターンを随時募集しています。政治家志望・政治に興味がある・いろいろな経験がしたいなどの思いを持った大学生・短大生の方は稲垣事務所まで連絡ください。

・・・志高く、好奇心旺盛なあなたをお待ちしております!!・・・

◆◆学生インターン一期生 3名 : 2ヶ月間のインターン期間終了◆◆

2月、3月の約2ヶ月間、私たちインターン生3名はいながき昭義議員のお手伝いをさせていただきました。

インターンなんでもアンケート

👉 インターンの中で1番大変だったことは？

- 松田 名簿入力
- 荒島 ポスター貼り
- 和田 ポスター貼り

👉 インターンの中で1番関心を持った話題は？

- 松田 RDF問題
- 荒島 NPO活動
- 和田 子供の居場所づくり

👉 いながきさんはどんな人？

- 松田 エネルギッシュでやさしくな人
- 荒島 前向きで周りを見渡すことができる人
- 和田 自分の意見をきちんと持った人

👉 インターンをさせてもらってよかったことは？

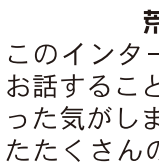
- 松田 議員の仕事に生でふれることができた。
- 荒島 いろいろな方とお話できたこと。
- 和田 普通の生活をしていては体験できないことができたこと。

インターン生の一言



松田 強【愛知大学3年生】

この2ヶ月初めての事ばかりでたいへん緊張しました。しかし、たくさんの人と話をする機会が持て、とても勉強になった2ヶ月でした。



荒島 綾子【三重大学2年生】

このインターンの中でいろいろな方とお話することにより、考え方が少し変わった気がします。これからのここでできたたくさんのきっかけを活かしていきたいと思います。



和田 麻衣子【三重大学2年生】

もし、この春休みにインターンをせず、友達と遊んで、バイトして…普段と何一つ変わらない生活をしていたら「何かしておけばよかった」と後悔していたと思います。たくさんの貴重な体験をすることができて良かったです。

芝ひろかず参議院立候補予定者のご支援をお願いします

7月11日参議院選挙が行われます。選挙にむけて、私の所属する会派「新政みえ」から幹事長の「芝ひろかず」さんが、出馬を決意されました。芝さんは、3月19日県議会を退職し、国政にむけて活動しています。会派の仲間であることから「新政みえ」所属議員一丸となって芝さんを支援することになりました。個人的には、県議会の中で芝さんと一緒に仕事が出来ないのは残念ですが、志を同じくする者として芝さんには、国政の場で、更なる飛躍をして欲しいと思います。皆様方のあたたかいご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。

個人献金のお願い

いながき昭義の政治活動は、皆様方の個人献金にお支えいただいております。心から感謝申し上げますと共に、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。尚収支報告につきましては、HPで詳細に公開しております。

- 三重銀行三重支店 口座番号:911077 名義:昭友会 代表者 稲垣昭義
- 郵便局 記号12280 番号26086671 名義:昭友会 代表者 稲垣昭義

Dream21 (ドリーム 21)

発行: いながき昭義と明日の三重を考える会 Tel 0593-61-7873 Fax 0593-61-7876
《事務所》〒510-8012 四日市市茂福町9-27 URL <http://www.dream-21.jp>
《自宅》〒512-0904 四日市市東坂部町266-6

第9号

後援会事務連絡

謹啓 時下、益々ご健勝のことと拝察しお慶び申し上げます。日頃は、いながき昭義後援会の活動にご理解、ご協力賜りまして誠にありがとうございます。

定例会後の恒例の「いながき昭義県政報告会」を下記の日程で、開催させていただきます。

ご多用の所大変恐縮ですが、近くに参ります際には、是非ともお誘い合せの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

尚、議会報告につきましては、毎回、皆様のご協力の下、すべて手配りでお世話いただいております。誠にありがとうございます。

一人でも多くの方に議会報告を見ていただきたく思っておりますので、「近所の方に配ってあげるよ」「友達に渡してあげるよ」という方は、何部からでも助かりますので事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。 謹白

いながき昭義後援会会長
古市 祐治



□ Dreamメールの登録をお願いします。 □

Dreamメール
登録者現在
680名

inagaki@dream-21.jp まで

「メール会報登録」とご記入いただき送信してください。

Dream21後援会報は、費用がかかることもあり、定例会ごとの年4回の発行ですが、「Dreamメール」は、月に2～3回県政報告・情報提供をいながき昭義が送信しております。パソコンをお持ちの方は是非貴方様のメールアドレスを教えてください。

尚、「Dreamメール」のバックナンバーは、ホームページにてご覧いただけます。

いながき昭義ホームページ <http://www.dream-21.jp>

いながき昭義県政報告会日程

第13回	5月23日(日) 14時～15時 水沢地区市民センター	第15回	6月6日(日) 14時～15時 富洲原地区市民センター
第14回	5月23日(日) 19時～20時 神前地区市民センター	第16回	6月6日(日) 19時～20時 橋北地区市民センター

※皆さまお誘い合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

最年少三重県議会議員 いながき昭義後援会会報

○。平成16年 第一回定例会 報告 ○。

会期：平成16年2月19日～3月19日

今議会では、7,004億2,729万円の平成16年度当初予算や、県政の総合計画であります「県民しあわせプラン」など93議案を議決、7件の意見書、1件の請願を採択しました。いよいよ野呂県政二年目ということで、中身が問われる一年になります。私も二年目に入りますので新しい世代のためにがんばって参る所存です。今議会では私にとりまして二回目の一般質問をいたしました。

提案型の質問を三項目に絞って行ないました。概要を下記に記載いたしますのでご覧下さい。尚答弁を含めた全文はホームページに掲載しておりますのでお時間ございます時にご覧下さい。

<http://www.dream-21.jp/h16-1teireikai.html>

◆ 3月4日、稲垣昭義一般質問登壇

1. 具体的な地域活性化策として観光医療産業の提案

稲垣昭義 質問

県内の観光産業は非常に厳しい状況にあります。その厳しい現状を直視し、これまでの観光のあり方をもう一度基本から見直し、知恵を絞り、何らかの付加価値をつけた、新たに三重の観光の価値を創造していくことが望まれております。癒し、スローライフを切り口として、観光と医療、中でも予防医療、代替医療、ヘルスケアといった分野とを結びつけ、新産業として徹底した育成を図っていくことを提案させていただきます。

三重県は、予防医療、ヘルスケアに应用可能な恵まれた観光資源があります。それをばらばらに活用するのではなく、例えば、「人間を健康にする地域三重」「スローライフ三重」といった統一した切り口で、より価値の高いものとして商品化していき、さらに、地域全体としてブランド化して売り出していくといった知恵があれば、この三重の観光をより価値の高いものに生まれ変わらせることができます。

従来の観光と予防医療、ヘルスケアとを組み合わせる観光医療産業は、三重県独自の新たな新産業として大きな成長が期待できるものと考えます。

御提案いたしました代替医療とも言われる予防医療の分野について、県内でどのような経済効果があるのか、独自に推計をして産業政策に生かしていただきたいと考えます。また、県内における予防医療産業、ヘルスケア産業の現状を把握して、三重県の地域特性に応じて、今後戦略的に予防医療関連の産業振興戦略を検討すべきと考えます。

県内の地域資源と予防医療を連携させた観光医療産業の中核拠点を整備する必要があると考えます。



石垣英一 農林水産商工部長 答弁

本年度から起用した観光プロデューサーを中心に観光商品づくりを進めていますが、健康やヘルスケアにつながる地域資源を生かした商品づくりを付加することで、さらに魅力ある観光施策を展開して参りたいと考えております。

稲垣昭義質問

平成15年6月に経済産業省から出されております「健康サービス産業創造研究会報告書」の中で「健康サービス産業モデル都市構想」というものが提案されていて、温泉や森林や海洋等の地域資源を活用した健康プログラムを提供する地域をモデル都市に指定すると書かれております。そして、平成16年度で10～20地域を指定する予定になっております。

本県でも、観光医療産業と地域資源、を連携させた中核拠点として、まさにこういう国のモデル都市構想を受けるような積極的な働きかけを、していくべきだと考えますが。

※次回6月に行われます第二回定例会の日程は、6月7日～6月22日の日程で行われます。

野呂昭彦 知事 答弁

国の方でそういった制度ができていますということでもありますから、積極的に活用してやっていく事例が起これば、私もともしてもぜひ検討したいと思っております。

稲垣昭義 質問

予防医療というのに対する取り組みは、我が国は非常におくれていると実感しております。みえメディカル研究会では現在、12個研究会がありますが、是非ともここに、予防医療、あるいは観光医療産業という研究会を具体的に1つ立ち上げていただきたいと思います。

2、放課後の児童・生徒の居場所についての提案

稲垣昭義質問

県では、健康福祉部所管で「学童保育」に対して、これまで運営費や設備費などの補助を行い、県内各地区の学童保育の活動を支援してきております。県内の学童保育137カ所のうち、学校の空き教室を活用したものは約8%の11カ所しかないことを踏まえて、これまでなかなか進んでいない学校の空き教室あるいは学校の敷地内での学童保育について、積極的に進めていただく必要があると思います。

教育委員会所管では、平成16年度から「地域子ども教室推進事業」として、子ども居場所づくりコーディネーターを市町村に配置し、放課後の子どもの居場所づくりを推進しようとしております。

また、生活部所管では、平成15年度から「青少年の居場所づくり事業」が始まり、平成16年度も継続して青少年が気軽に立ち寄れる、自由に集まることができる居場所を確保するため補助金を出しております。

それぞれ、対象や切り口は少し違います。しかし、大きな目的は、核家族化が進み、女性の社会進出などに伴い夫婦共働きの家庭が増加している中で、本来家庭で行わなければならない家庭教育を補う部分として、児童や生徒の放課後の居場所を確保するという点で共通しているものと考えます。

三つの部局で連携をしっかりとって、この同じ目的を持った事業を推進するに当たり、共通の目的を達成できる体制を整えていってほしいと考えます。

土橋伸好 教育長 答弁

県教育委員会では、学童保育の設置ニーズを考え、県内の市町村でのさまざまな形の実践例を紹介しながら、余裕教室の状況も勘案し、市町村で関係機関が連携して取り組めるよう市町村教育委員会に働きかけていきます。

青木龍哉 健康福祉部長 答弁

平成16年度は、15年4月に法律が通りました次世代育成支援対策推進法の中で義務づけられております行動計画策定の年です。ご指摘いただきました連携体制については、この計画づくりの事務局となっています健康福祉部が中心となって、この計画づくりの検討の中で、関係部局と連携をとりながら、情報の共有化を図り、また、実施主体であります市町村にも働きかけをしながら取り組みを進めていきます。

3、安全で安心なまちをつくるための提案

稲垣昭義 質問

最後に、安全で安心なまちをつくるため、防犯について、提案を三つさせていただきます。

- ① 現在、地域や学校などで防災訓練が行われていますが、ぜひ防犯活動においても、率先して県、警察の方から働きかけて、防犯訓練、防犯ギャザリングを行っていただきたい。
- ② 地域で防犯活動をリードする人を育てる防犯コーディネーター育成事業を行って欲しい。
- ③ 県内18の警察署で、防犯ボランティア相談窓口としてフリーダイヤル、0120の回線を設置いただきたい。

飯島久司 警察本部長 答弁

大変貴重な提案を3件いただきありがとうございます。

防災訓練の際に防犯訓練を行うことは、一つのアイデアだと考え、御趣旨はよく理解できます。ただ、防災訓練の場合には、関係機関も多数ありますので、今後、それらの皆さん方と協議をさせていただきながら検討させていただきます。

防犯コーディネーター制度につきましても、防災コーディネーター育成事業の実施状況等を踏まえつつ、今後の研究課題の一つとさせていただきます。最後に、フリーダイヤルの設置については、費用の問題もあり、現時点ですぐに設置するというのは難しい問題だと考えますが、御提案の趣旨も踏まえつつ、県民の皆さんが気楽に、気軽に御相談いただけるような、体制づくりに努めてまいります。

(今議会で、防犯ボランティア相談窓口0120-71-8106で設置決定)



2月9日 全国青年都道府県議の会東海ブロック研修会



第10回 県政報告会

三重県議会議員
稲垣 昭義

いながき昭義県議会報告は年4回発行しています。バックナンバーが必要な方はご連絡ください。お待ちしております。